

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	人形劇団育成事業 人形劇のまちづくり事業と一本化				財務会計上の位置付け	会計	1	款	10	項	5	目	7	細目	13	細々目	7	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	文化会館		包含する細々目													
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり																	
施策	27 文化芸術の振興																	
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等												
		事業期間	6	年度～	年度													

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	地元人形劇団(学校のクラブ、一般のサークル、保育士劇団)	地元の人形劇団数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			20			
		現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	人形劇指導・人形劇講座を受講してもらう。各クラブ・サークルの技術が向上する。	人形劇指導・講座の受講者数(延べ人数)	18目標	800	最終目標	18
			18実績	800	19目標	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度
		全受講者のうち人形劇技術が向上した受講者の割合	18目標	100	最終目標	18
			18実績	100	19目標	↑
23目標				23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	小中学校の人形劇クラブ、保育士、アマチュア人形劇サークルなどを対象とした人形劇研修会の開催。講師の派遣。	・17年度までの指導職員が退職するので、新たに講師業務を委託。 ・小中学校の人形劇クラブ、総合学習での人形劇製作などへの指導者派遣(42回)、保育士人形劇指導(3回)、竹田人形を支える会のワークショップ(18回)、小中学校クラブを対象とした人形劇講座。(鑑賞事業、指導者研修 数回) ・小中学校や保育士の人形劇育成に伴う発表会は、フェスタとは別の機会を設定。また地育力向上支援事業との連携を図った。	小中学校の人形劇クラブ、総合学習への講師派遣(回) 保育士への人形劇指導(回) 竹田人形を支える会のワークショップ(回)	小中42回 保育士3回 竹田18回
	18年度の実績			
	19年度計画	新たな人形劇団の育成。(人形劇講座、指導者の派遣)		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	0	0
事業費計(A)	0	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	0	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値				
	市民が文化活動や創作活動に参加する発表する	活動に参加した市民の割合	現状値		19実績		
			20実績		21実績		
				22実績		23目標	
			現状値		19実績		
			20実績		21実績		
		22実績		23目標			

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>88年の世界人形劇フェスティバル以降、飯田市が「人形劇のまち」と呼ばれるようになる中、各小中学校に人形劇クラブ(部)が誕生した。また、保育職場や市民団体からも自分たちで上演できるようになるという動きが出てきた。しかし、実際に人形劇を経験したことのある者は少なく、学校のクラブ顧問、保育士の指導のために、平成6年にこの事業を開始した。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>学習指導要領の改訂、完全学校週5日制の実施などの影響により、学校教育における人形劇クラブ活動の時間が取りにくくなっている。一方で、全市的な子ども人形劇グループを育成するには、条件が整ってきたと考えられる。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>「人形劇のまちづくり」を入づくりの政策の柱に据えていることから、その一環として人形劇創作活動の振興を求める市民の意見はある。</p>
---	--	--

【See】18年度の振り返り

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由) 人形劇フェスタ2005において、延べ24の市内小中学校人形劇団が上演し、地区公演を盛り上げた。</p>	<p>有効性 評価</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由) 脚本集(第二集)をつくり、小中学校で活用すべき。人形劇の教育現場での活用事例がレポートとして発表されれば多くの教育者が人形劇に関心をしめずであろう。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 地育力、知育力向上の核となる事業である。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由) 急速に人形劇に対する関心が薄れ、人形劇のまちとしての姿勢が問われる。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由) 見直しより、基本理念をきちんとした形で表し、地域の中での評価を定着すべきである。</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由) 地育力、知育力向上のための事業と位置付け積極的に推進すべきである。</p>		<p>効率性 評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由) 17年度末に指導専門職員が退職し人形劇団に対する業務委託となった。</p>
				<p>公平性 評価</p> <p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 2018年度</p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>指導業務の委託化への切替</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>専門職員の退職にともなう指導者の確保。業務委託料が必要。</p>
---	--

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	